

令和8年1月14日

関係者各位

アフリカ連合日本政府代表部  
経済・開発協力班

明けましておめでとうございます。当代表部では、アフリカ各国に関連するビジネスニュースに加え、民間セクター・関係機関に有益と思われるトピックをまとめたアフリカ経済月報を配信しております。ビジネストレンド、経済動向、投資環境や法規制など、アフリカでビジネスを展開中、または進出を検討している方々のお役に立てればと思っております。また、当代表部ではウェブサイトに加えて、以下のX(旧twitter)のアカウントでも情報を発信しておりますので、フォロー・拡散いただけますと幸いです。本年も宜しくお願ひ致します。

なお、今月1月10日から18日までエチオピア連邦民主共和国及びガーナ共和国を訪問するアフリカ貿易・投資促進官民合同ミッションが実施されます。両国で開催されるビジネスフォーラムに出席するとともに、両国の政府要人との意見交換等を行う予定で、今回のミッションは15回目を迎えます。日本の経済界、関係政府機関等から約70名が参加し、昨年8月のTICAD9のフォローアップを通じて、日本と両国間の貿易・投資の促進を目指します。

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/pressit\\_000001\\_03197.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/pressit_000001_03197.html)

当代表部ウェブサイト:[https://www.au-mission.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.au-mission.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)  
同 Xアカウント:[https://x.com/mission\\_japan](https://x.com/mission_japan)

配信内容へのご意見或いは新規登録希望の方は以下のアドレスに  
組織名、氏名、役職をご記入の上お願いします。

[keizaihatsu@ua.mofa.go.jp](mailto:keizaihatsu@ua.mofa.go.jp)

## ■東部アフリカ

(1)【エチオピア】エチオテレコム、カメリーン通信公社とマスターサービス契約を締結  
エチオテレコムはカメリーン通信公社(CAMTEL)とマスターサービス契約(MSA)を締結し、カメリーンの国家デジタル変革を支援。エチオピアによるデジタル技術の活用網が拡大。  
<https://www.fanamc.com/english/ethio-telecom-signs-strategic-master-service-agreement-with-camtel-to-support-cameroons-digital-transformation/>

## (2)【ケニア】ディアジオがイーストアフリカン・ブルワリーズ株売却

世界最大の酒類メーカーであるディアジオは、イーストアフリカン・ブルワリーズ社の株式をアサヒグループホールディングスに23億米ドルで売却することで合意。売却対象には同社の株式だけでなく、ケニア拠点UDVKの過半数持分が含まれる。ディアジオは非中核資産の売却による事業効率化で成長に注力する戦略を推進中。同社は近年、主要ブランドのライセンス権を保持しつつ戦略的売却でアフリカ事業ポートフォリオを再編中。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/worlds-largest-spirits-maker-diageo-sells-stake-in-east-african-breweries-for/d4xhgzyz>

### (3)【ケニア】ケニア政府 AGOA 延長案は貿易安定に重要と歓迎

ウィリアム・ルト大統領は、米国政府がアフリカ成長機会法(AGOA)を1年間全面延長する提案を歓迎し、この措置が継続的な貿易上の利益を保護すると同時に、両国がこの協定のより野心的な将来像を描くことを可能にすると述べた。

<https://allafrica.com/stories/202512050129.html>

### (4)【タンザニア】クワラ工業団地促進戦略を検討

タンザニア政府は、新たなビジネス・投資拠点としてクワラ工業団地(KIP)をさらに促進する戦略を発表。蜂蜜生産工場、冷蔵庫製造施設、太陽光パネル生産工場など、工業団地内の複数の工場を政府関係者が視察。この主要経済圏における投資進捗状況を踏まえて、今後の評価を決定する。

<https://allafrica.com/stories/202512110044.html>

## ■西部アフリカ

### (5)【カメルーン】パーム油輸入依存度削減のため生産拡大を目指す

カメルーンは2026年末までに粗パーム油生産量を2.5万トン増加させる目標を設定し、長年の輸入依存の緩和と国家食料安全保障の強化を図る。この動きは、年間50万トンを超える供給不足の解消を目指す政府の包括的戦略の一環である。

<https://ukrageroconsult.com/en/news/cameroon-aims-to-boost-palm-oil-production-to-cut-its-heavy-reliance-on-imports/>

### (6)【ナイジェリア】ナイジェリア、初の近代的 ELV リサイクル工場を建設へ

ナイジェリア国家自動車設計開発評議会(NADDCC)は会宝産業株式会社と提携し、ナイジェリア初の近代的な廃車(ELV)リサイクル工場を設立する。持続可能な自動車産業の実践を推進し、雇用を創出し、環境汚染を削減することを目指す。

<https://businessday.ng/news/article/nigeria-moves-towards-circular-auto-economy-to-build-first-modern-elv-recycling-plant/>

## ■南部アフリカ

### (7)【南ア】南アフリカ小売大手、ドイツ小売企業を買収し欧州市場へ進出

南ア小売大手、Mr. Price は、ドイツの小売企業 NKD Group GmbH を最大 5.7億米ドルで買収予定。本買収は、Mr. Price の欧州市場への進出を目的としたもので、アフリカ企業による重要な取引となる。買収資金は内部資金と借入を組み合わせた戦略的財務アプローチで調達。買収により年間売上高と店舗数は増加するが、投資家の間では過去の海外展開における課題が懸念材料として浮上している。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/south-african-retail-giant-makes-bold-move-into-europe-with-dollar570-million-german/0egchpe>

## (8)【南ア】スカイラーク・ミネラルズ、コートジボワール事業で資金調達

豪スカイラーク・ミネラルズ社は1千万豪ドル(6.6百万米ドル)の資金調達を行い、コートジボワールにおける金探査資産ポートフォリオ取得と開発を支援する。これは西アフリカに焦点を当てた成長戦略への転換を図るものである。

<https://www.proactiveinvestors.com.au/companies/news/1083029/skylark-minerals-raises-a-10m-to-fund-cote-d-ivoire-expansion-1083029.html>

## (9)【南ア】世界最大のEVメーカーが南アフリカでの拡大を加速

中国自動車メーカーBYDは、成長著しい南アフリカの電気自動車(EV)市場での拡大を急ピッチで進め、2026年第1四半期までに35の販売店を設立する計画。南アフリカのEV市場は、手頃な価格のモデルと拡大する充電インフラによって支えられている。BYDはボルボ、奇瑞汽車、長城汽車などの他社との競争に直面しており、2026年末までに全国300ヶ所の急速充電ステーションの設置を計画している。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/worlds-largest-ev-automaker-accelerates-expansion-in-south-africa/pdmkq6w>

## (10)【ナミビア】中国系ウラン鉱山企業がナミビア第2海水淡水化プラント建設を支援

中国広核集団の子会社スワコプ・ウランは、ナミビアの水道事業体ナムウォーターと合弁契約を締結し、スワコプムント近郊に同国第2の海水淡水化プラントを建設する。アフリカで最も乾燥した国の一である同国で2基目となるこの新プラントは、国内最大のウラン鉱山フサブへの水供給強化と、大西洋に面したナミビア・エロンゴ地域のコミュニティ支援に寄与する見込み。

<https://www.reuters.com/business/energy/chinese-uranium-miner-help-build-namibias-second-desalination-plant-2025-12-10/>

## (11)【ボツワナ】インド企業、40億米ドル規模の再生可能エネルギー事業へ道筋

インドの再生可能エネルギー発電事業者KPグループは、ボツワナ政府とMoUを締結し、同国において総額40億米ドル規模の再生可能エネルギー及びインフラプロジェクトを共同開発する。本合意は、大規模な再生可能エネルギー発電、エネルギー貯蔵、送電インフラプロジェクトの計画、開発、実施に関する枠組みを定めるもの。既に6GWの再生可能エネルギー資産を保有するKPグループは、プロジェクトに関連する全ての技術的・商業的開発活動を担当する。

<https://renewablesnow.com/news/kp-group-sets-stage-for-usd-4bn-renewables-spending-in-botswana-1287041/>

## (12)【アンゴラ】ルクセンブルク企業、アンゴラ空港運営権を獲得：

アンゴラ政府は、ルクセンブルクを本拠地とするコーポラシオン・アメリカ・エアポートズが率いるコンソーシアムが、同国首都ルアンダに新設される30億ドル規模の国際空港運営権を落札したと発表した。同社は6カ国で53の空港を管理しており、今回のコンソーシアムの

パートナーであるポルトガルの建設会社モタ・エンジル SGPS 社と共同で新ハブ空港を運営すると声明で明らかにした。

<https://www.luxtimes.lu/luxembourg/luxembourg-based-corporacion-america-wins-bid-to-run-3-billion-airport-in-angola/112823669.html>

### (13) 【マラウイ】カロンガをマラウイのコメ生産拠点へ加速

マラウイ政府は、グリーンベルト庁(GBA)管轄のンソラ・イロラ灌漑計画の早期完成を約束した。数十億クラフチャ規模(数億円規模)のこのプロジェクトは、カロンガのコメ生産を変革し、国家の食料安全保障を強化すると期待されている。マラウイ政府は、同事業を同国農業の将来にとって戦略的なものと位置付け、「完成まで決して手を緩めない」と発言した。

<https://www.nyasatimes.com/greenbelt-revival-government-steps-on-the-gas-to-turn-karonga-into-malawis-rice-powerhouse/>

## ■北部アフリカ

### (14)【チュニジア】停滞していた太陽光発電容量増を推進

チュニジアは大規模太陽光発電セクターの展開を加速させており、複数の主要プロジェクトで建設が進行中。同国産業鉱山エネルギー省は、太陽光発電容量拡大を目的としたコンセッション方式と認可方式の両方を採用しており、コンセッション方式では直近500MW の入札が終了間近である。旗艦プロジェクト100MW のケルアン発電所は95%完成している。

<https://www.intellinews.com/tunisia-kicks-off-stalled-expansion-of-solar-projects-with-1-3gw-capacity-push-415544/>

### (15)【エジプト】エジプトとカタール、持続可能な航空燃料で2億ドル契約を締結

スエズ運河経済特区庁(SCZone)とカタールのアル・マナ・ホールディング社はAINソクナにおける持続可能な航空燃料(SAF)の生産に関する契約を締結。本プロジェクトは、同地における初のカタール企業による産業投資となるもので、総投資額は2億米ドルに上り、年間20万トンの SAF 生産能力を達成する見込みである。

<https://apanews.net/egypt-qatar-sign-200m-contract-for-sustainable-aviation-fuel/>

### (16)【アルジェリア】ペルタミナ、アルジェリアから初の原油100万バレル積載を実施

インドネシア PT ペルタミナ・インターナショナル EP はアルジェリア・オラン県アルゼウ港からインドネシア向け原油100万バレルの初積載を実施。この出荷は同社保有の権益からの生産分与契約延長後初の生産分となる。同社は今後25年間にわたりアルジェリアにおける事業継続を計画している。

<https://en.tempo.co/read/2076079/pertamina-runs-first-lifting-of-1-million-barrels-crude-oil-from-algeria>

## (17)【モロッコ】世界的な穀物生産急増でモロッコがフランス産小麦に依存

モロッコは 2025/26 年度に小麦輸入への依存度を高める見通しで、フランスが同国への主要供給国としての地位を強化している。モロッコは総計約550万トンの輸入を計画しており、フランスが同国需要の約 3 分の 2 を賄う模様。同時に世界的な小麦生産量が過去最高を記録しており、輸出国の在庫が増加している。

<https://ukrAgroconsult.com/en/news/morocco-bets-on-french-wheat-as-global-grain-output-surges/>

### ■その他

## (18)【アフリカ開発銀行】南スーダン・エチオピア・ジブチ輸送回廊に2. 2億米ドルを承認

アフリカ開発銀行グループ(AfDB)は、南スーダン・エチオピア・ジブチ輸送回廊プロジェクトの第 2 段階を開始するため、約2. 2億米ドルの融資を承認した。この地域統合の旗艦プロジェクトは、3 力国間の貿易、接続性、経済成長を促進することが期待されている。この融資パッケージは AfDB の譲許的融資枠から提供され、エチオピア1. 8億米ドル、ジブチ0. 3億米ドル、南スーダン0. 3百万米ドルの無償資金と移行支援ファシリティを含んでいる。

<https://www.sudanspost.com/afdb-approves-214-4-million-for-south-sudan-ethiopia-djibouti-transport-corridor/>